○○大学大学院○○研究科○○専攻に対する認証評価結果（○○案）（様式）

（第○分科会）

Ⅰ　判　定

※実地調査後に決定。

Ⅱ　総　評

※実地調査後に記述。

Ⅲ　概評及び提言

１　使命・目的　（

評定：Ｓ　Ａ　Ｂ　Ｃ　）※実地調査後に決定。

項目：目的の設定

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| **1-1** | 当該分野の専門職大学院が担う基本的使命及び設置大学の理念・目的を踏まえ、当該専門職大学院の目的を設定していること。またその目的は、当該専門職大学院の存在価値や目指す人材養成等の方向性を示すものとして明確であること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表１ | 固有の目的を学則等に定め、公表していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（基礎要件データ表○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

２　教育課程・学習成果、学生

（評定：Ｓ　Ａ　Ｂ　Ｃ

）※実地調査後に決定。

項目：学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-1 | 当該分野の専門職大学院が担う基本的な使命に適合し、期待する学習成果を明示した学位授与方針を定めていること。また、学位授与方針に基づいて教育課程の編成・実施方針を定め、教育の内容や方法等の妥当性を明確に説明していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表２ | 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を策定・公表していること。 |
| 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を策定・公表していること。 |

（評価の視点2-1の概評を参照。）

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表３ | 分野の特性や教育内容にふさわしい名称を学位に付していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（基礎要件データ表○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

項目：教育課程の設計と授業科目

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-2 | 基本的な使命及び固有の目的を実現し、理論に裏打ちされた実践ができる高度専門職業人を養成するために、期待する学習成果の達成に必要な授業科目を開設していること。その際、次に掲げる事項を踏まえ、各授業科目を配置していること。（１）法務分野における高度な専門知識、広い見識及び実務能力の涵養（２）国際的な実践の場で活躍できる能力の涵養（３）教育課程の系統性 |

※14行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-3 | 固有の目的に基づき、特色ある教育課程を編成していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-4 | 社会的・国際的に活躍できる高度専門職業人を養成し続けていくために、固有の目的や中・長期ビジョン等に基づき、技術革新や社会の変化を踏まえた教育となるよう努めていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-5 | 授業時間帯や時間割は、学生の履修に支障がないものであること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

　＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

項目：教育の実施

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-6 | 学生に期待する学習成果を踏まえ、その達成にふさわしい授業形態（講義、演習、実習等）、方法（ケーススタディ、フィールドワーク、討論、質疑応答等）及び教材を用いていること。また必要に応じてインターンシップを実施したり、ゲスト・スピーカーを招聘するなど当該職業分野の関係機関等と連携した教育上の工夫を行っていること。 |

※14行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-7 | 通信教育やe-learning等の時間的・空間的に柔軟な形態で授業を行っている場合、使命・目的の達成につながる十分な教育効果をあげることのできる、適切な内容及び方法となっていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-8 | 学生の円滑な学習のため、下記のような取組みを行っていること。・シラバスの作成と活用・履修指導、予習・復習等に係る相談・支援 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-9 | 教育を実施するうえでふさわしい教室、その他必要な施設・設備を備え、かつ適正な学生数で教室等を利用していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-10 | 学生の学習成果の向上に向け、自習室、学生相互の交流のためのラウンジ等を設けていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-11 | 図書館（図書室）は、学習及び教育研究活動に必要かつ十分な図書等を備え、かつ利用時間その他の利用環境が学習及び教育活動を支えるものとして十分なものであること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表４ | 学生の学習時間等を考慮し、法令上の規定に則して、単位を設定していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（基礎要件データ表○）。

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表５ | 適切な履修が可能となるよう、履修登録できる単位数の上限を設定していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（基礎要件データ表○）。

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表６ | 他の大学院等において修得した単位を適切な方法により認定していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（基礎要件データ表○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

項目：学習成果

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-12 | 授業科目の内容、形態に応じ、それぞれの目標の達成度を測るのにふさわしい方法・基準を設定し、これをあらかじめ学生に明示したうえで、学生の学習にかかる評価を公正かつ厳格に行っていること。また、その結果について組織的に検証を行っていること。 |

※14行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-13 | 成績評価の公正性・厳格性を担保するために、学生からの成績評価に関する問合せ等に対応する仕組みを整備し、かつ、学生に対して明示していること。また、その仕組みを適切に運用していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-14 | あらかじめ学生に明示した基準及び方法によって修了認定を行い、学位授与方針に定めた学習成果を達成した学生に対して適切に学位を授与していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-15 | 学生の学習成果を把握・評価していること。また、学習成果や修了者の進路状況等を踏まえ、当該専門職大学院における教育の適切性を検証していること。加えて、必要に応じ、それを踏まえて教育課程や授業方法の改善・向上策をとっていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表７ | 課程の修了認定に必要な在学期間及び修得単位数を適切に設定していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（基礎要件データ表○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

項目：学生の受け入れ

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-16 | 学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえて学生の受け入れ方針を定め、求める学生像や入学者に求める水準等の判定方法等を明確にしていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-17 | 選抜方法及び手続をあらかじめ公表したうえで、所定の選抜基準及び体制のもとで適切かつ公正に入学者を選抜していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-18 | 入学定員に対する入学者数及び収容定員に対する在籍学生数を適正に管理していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

＜入学者数、在籍学生数の推移＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 20XX年度 | 20XX年度 | 20XX年度 | 20XX年度 |
| 入学者数（入学定員○名） | ○名 | ○名 | ○名 | ○名※実地調査後に記入。 |
| 在籍学生数（収容定員○名） | ○名 | ○名 | ○名 | ○名※実地調査後に記入。 |

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表２ | 学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定・公表していること。 |

（評価の視点2-16の概評を参照。）

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表８ | 定員を適正に管理していること。 |

（評価の視点2-18の概評を参照。）

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

**項目：学生支援**

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-19 | 適切な体制のもと、教員と事務職員等の役割分担と協働により、進路選択・キャリア形成に関する相談・支援を行っていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-20 | 適切な体制のもと、教員と事務職員等の役割分担と協働により、社会人、留学生、障がい者をはじめ、多様な学生が学習を行っていくための支援を行っていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 2-21 | 適切な体制のもと、教員と事務職員等の役割分担と協働により、在学生の課外活動や修了生の卒後活動に対して必要な支援を行っていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

３　教員・教員組織　（評定：Ｓ　Ａ　Ｂ　Ｃ　）※実地調査後に決定。

項目：教員組織の編制方針

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 3-1 | 教員組織の編制方針を定め、当該専門職大学院の教育研究活動を推進するうえで必要となる教員組織の全体的なデザイン（教員数、分野構成、研究者教員と実務家教員のバランス等）を明確にしていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

項目：教育にふさわしい教員の配置

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 3-2 | 基本的な使命及び固有の目的を実現し、理論と実務を架橋する教育を十分に実施できるだけの専任教員を教員組織の編制方針に即して配置していること。その際、主に学術的研究の業績を有する教員（研究者教員）と主に高度な実務経験等を有する教員（実務家教員）を適切なバランスで配置していること。 |

※14行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 3-3 | 専任教員は、何れも以下のいずれかに該当し、かつ、その担当する専門分野に関し高度の教育上の指導能力を備えていること。・専攻分野について、教育上又は研究上の業績を有する者・専攻分野について、高度の技術・技能を有する者・専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有する者 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 3-4 | 教育課程の中核をなす授業科目については、原則として、専任の教授又は准教授を配置していること。それらの科目に兼担又は兼任教員を配置する場合は、あらかじめ定められた基準及び手続によっていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 3-5 | 専任教員の構成は、特定の年齢層に著しく偏らないものであるとともに、当該専門職大学院の分野特性を踏まえつつ多様性に配慮したものであること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表９ | 法令上必要とされる人数の専任教員が配置されていること。 |
| 表10 | 法令上必要とされる専任教員数の半数以上が教授で構成されていること。 |
| 表11 | 法令上必要とされる専任教員に占める実務家教員の割合がおおむね３割以上であること。 |
| 実務家教員は、いずれも５年以上の実務経験を有するとともに、高度の実務能力を有すること。 |
| 表12 | 実務家教員のなかに「みなし専任教員」を置く場合には、その人数及び担当授業科目の単位数が法令上の規定に則したものであること。 |
| 「みなし専任教員」は教育課程の編成その他組織の運営について責任を担っていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（基礎要件データ表○）。

＜XXXX年度の専任教員に関する情報＞※実地調査後に記入。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 専任教員 | 専任教員のうち教授 | 専任教員のうち実務家教員 | 実務家教員のうちみなし専任教員 |
| ●名 | ●名 | ●名 | ●名 |

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表13 | 専任教員は、専攻分野における優れた業績、技術・技能又は知識・経験を有するとともに、高度の教育上の指導能力を備えていること。 |

（評価の視点3-3の概評を参照。）

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表14 | 教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏っていないこと。 |

（評価の視点3-5の概評を参照。）

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表15 | 他の学部又は研究科の基幹教員等が当該専門職大学院の専任教員として取り扱われる（ダブルカウントされる）場合には、その人数、期間等が法令上の規定に則したものであること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（基礎要件データ表○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

項目：教員の募集・任免・昇格

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 3-6 | 教員の募集、任免及び昇格について、適切な内容の基準及び手続を定め、それらに基づき公正に実施していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

項目：教員の資質向上等

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 3-7 | 専任教員の資質向上を図るために、組織的な研修等を実施していること。その際、実務家教員のみならず研究者教員の実務に関する知見の充実や、実務家教員の教育上の指導能力及び大学教員に求められる職能に関する理解の向上に努めていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 3-8 | 当該専門職大学院の教育や実社会への応用につなげていくため、当該専門職大学院としての研究のあり方を明らかにし、組織的な研究支援を行っていること。また、研究者教員にあっては専門分野の学術的研究に取り組み、実務家教員にあっては法務分野に関する知見の充実及び刷新を図り、実務に基づく研究等に継続的に取り組むよう促していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 3-9 | 専任教員の教育活動、研究活動、組織運営、社会との関係の形成・社会貢献等について、適切に評価していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

項目：教育研究条件・環境及び人的支援

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 3-10 | 専任教員の教育研究活動に対し、適切な条件設定（授業担当時間の適正な設定、研究専念期間等の保証、研究費の支給等）、環境整備（研究室の整備等）及び人的支援（ＴＡ等）を行っていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 3-11 | 専門職大学院として継続的な研究成果を創出するため、若手教員が研究活動に必要な時間を確保できるようにすること。また、所属する教員が教育研究活動を継続できるよう、ライフステージに応じた支援をしていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

　＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

４　専門職大学院の運営と改善・向上　（評定：Ｓ　Ａ　Ｂ　Ｃ

）※実地調査後に決定。

項目：専門職大学院の運営

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 4-1 | 当該専門職大学院固有の意思決定及びその遂行を担う組織体制に加え、事務組織を整備し、教員と事務職員等の役割分担と協働により、専門職大学院の適切な運営を行っていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 4-2 | 教育の企画・設計等における責任体制が明確であること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 4-3 | 教育内容、教員人事等で関係する学部・研究科等がある場合、適切に連携等を行っていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

項目：自己点検・評価と改善活動

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 4-4 | 自己点検・評価のための手続を明確にし、かつ責任ある体制のもとで組織的・継続的な自己点検・評価を行っていること。その際、修了生等の意見や学生の意見を勘案するなど、多角的な視点に立つ工夫をしていること。また、その結果を教育研究の改善・向上に結び付けていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 4-5 | 認証評価等において改善の必要性を指摘されたものについては、適切に対応していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

項目：社会との関係、情報公開

＜概評＞※特に断りのない場合、各評価の視点について７行以内（根拠資料の記載を除く）で記載。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 4-6 | 教育課程連携協議会を活用するなど、社会の意見を当該専門職大学院の運営やその改善・向上において勘案していること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 4-7 | 当該専門職大学院の運営と諸活動の状況について情報を公開し、説明責任を果たしていること。また、その使命・目的や活動状況について社会の理解形成に向けて取り組んでいること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 評価の視点 |
| 4-8 | 企業その他の外部機関との連携・協働を進めるための協定、契約等を結んでいる場合においては、その決定・承認を適正な手続で行い、また資金の授受・管理等を適切に行っていること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（点検・評価報告書○頁、資料○-○、資料○-○）。

|  |
| --- |
| 基礎要件 |
| 表16 | 教育課程連携協議会を設置していること。 |
| 教育課程連携協議会の構成が適当であること。 |

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（基礎要件データ表○）。

＜提言＞※項目としての提言を記載。複数の評価の視点にまたがるものも可。

【長所】

※実地調査後に記載。

【特色】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【検討課題】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【是正勧告】

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

＜質問事項等＞

【質問事項】※評価上特に必要なものに限って記載。

●実地調査10日前までに書面で回答を求めるもの

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

●質問事項（実地調査当日に口頭で回答を求めるもの）

１）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（評価の視点○-○）。

【提出を求める資料】※複数年度分の提出を求める場合、３～５年分を目安に過去何年分か明記。

１）○○○○○○○○

以　上

実地調査に係る要望事項

＜全体面談①冒頭のプレゼンテーション内容＞

・

・

＜学生インタビューの対象者＞※６名程度で記載。

・

・

＜教職員との個別面談のテーマ・対象者＞※対象者は４名程度で記載。

・テーマ：

・対象者：

＜見学施設・設備等＞

・

・

＜実地調査時閲覧資料＞

（１）答案・レポート、成績原簿

　※希望する科目がある場合、科目名称とともに、閲覧希望の年度・対象者（①最高成績者、②単位取得ができた最低成績者、③平均的な成績者（３～５つ）、④すべて等）を指定。

　　・科目名称：

　　・閲覧希望の年度・対象者：

（２）成果物（課題研究論文等）

※要の場合、資料名称とともに、閲覧希望の年度・対象者を指定。

　［要/否］

　　・資料名称：

　　・閲覧希望の年度・対象者：

（３）その他閲覧を希望する資料

　・

　・

以　上

※本評価結果における評定について

* 大項目ごとの評定は、当該専門職大学院がグローバル法務系専門職大学院基準に照らしてどのような状態にあるかについて、以下の４段階のいずれかで表したものである。
* グローバル法務系専門職大学院基準は、それぞれの専門職大学院が掲げる目的の達成状況等を重視した評価を行うことができるよう設定されたものである。このため、同じ評定であっても大学ごとの状況は異なることから、評定はあくまで各大学の評価結果を理解する補助として参照されたい。

|  |  |
| --- | --- |
| Ｓ | グローバル法務系専門職大学院基準に照らして極めて良好な状態にある。 |
| Ａ | グローバル法務系専門職大学院基準に照らして良好な状態にある。 |
| Ｂ | グローバル法務系専門職大学院基準に照らして一定の問題が認められる。 |
| Ｃ | グローバル法務系専門職大学院基準に照らして重度の問題がある。 |